

わかりやすく、すぐに使える図面の基礎を速習します! 設計意図を正しく伝えるための 寸法公差図面の描き方

—寸法公差記入のルールから公差なくす・緩めるテクニックまで

日時 2019年 **10**月 **4**日(金) 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **40,000円**(資料含む、消費税別)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講 申込書

10/4 寸法公差

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：40,000円 (資料含む、消費税別) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ		業種
	フリガナ		
氏名	フリガナ		TEL
	フリガナ		
所在地	〒		FAX
	E-mail :		

※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190215

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

参加のおすすめ

図面は描き方ひとつで信頼性やコストを左右する重要なドキュメントであり、誰が見ても同じように判断できる（読み取れる）ように描く技術が求められます。このような自身のスキルが不足しているにもかかわらず、「図面と違う部品が納品された…」などとボヤいていないでしょうか。

本講座は、そのような基礎力を速習できるよう、機能の重要性を表す寸法公差やはめあい公差、表面性状記号の描き方を解説。併せて、公差計算の基本的な考え方も紹介します。

基礎からきっちり学んでこそスキルアップにつながります。実務で図面を描く入社10年目ぐらいまでのエンジニアから、図面をチェックし部下を指導するリーダークラス、CADオペレーター・トレーサーの方まで、幅広い層の受講をお奨めします。

受講対象

実務で図面を描く入社10年目ぐらいまでの技術者や図面を検図し、部下を指導しなければいけないリーダー。
今よりスキルアップしたいCADオペレーター・トレーサーの方。製図の基礎を改めて習得したい方。

プログラムと講師

【講師】 (株)ラブノーツ/六自由度技術士事務所 代表取締役
技術士(機械部門)

山田 学 氏

【略歴】S38年生まれ、兵庫県出身。ラブノーツ 代表取締役。

著書として、『図面って、どない描くねん! 第2版』、『設計の英語って、どない使うねん!』、『めっちゃ使える! 機械便利帳』、『図解力・製図力おちゃのこさいさい』、『めっちゃ、メカメカ! リンク機構99→∞』、『メカ基礎/バイブル 〈読んで調べる!〉設計製図リストブック』、『図面って、どない描くねん! Plus+』、『図面って、どない読むねん! LEVEL00』、『めっちゃ、メカメカ! 2 ばねの設計と計算の作法』、『最大実体公差』、『設計センスを磨く空間認識力“モチアゲ”』、『図面って、どない描くねん!バイリンガル』共著として『CADって、どない使うねん!』(山田学・一色桂 著)、『設計検討って、どないすんねん!』(山田学 編著)などがある。

1. サイズとサイズ公差の関係

- 1-1 2016年の改正JISによるサイズ公差と幾何公差の使い分け
- 1-2 実力診断テスト：○×クイズによる現状知識の確認

2. サイズ公差の表記と使い方

- 2-1 意外と誰も知らないサイズ公差記入のルール
- 2-2 代表的な機械要素と設計テクニック
- 2-3 サイズ公差値の決め方・考え方（上限値と下限値）など

3. はめあい公差と表面粗さ

- 3-1 世界に通用する公差クラス記号の意味と使い方
：はめあい公差記号の意味、公差等級と公差域クラスの関係など
- 3-2 表面性状記号の意味と表し方
- 3-3 寸法公差を使う代表的な機械要素の設計テクニック

4. 公差計算の基本的な考え方

- 4-1 一部品内の公差計算の考え方
- 4-2 複数部品間の公差計算の考え方(累積公差)
- 4-3 公差計算をしているのに効果が得られない理由

5. まとめ

- 5-1 実力診断テスト：○×クイズによる習得知識の確認
- 5-2 質疑応答

随時、演習問題を行いますので、下記をご持参ください。

①筆記用具 ②蛍光ペンと4色ボールペン ③電卓